



2026 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 住石ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 森 省輔
(コード：1514 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役執行役員財務部長 宮澤 義典
(TEL 03-5511-1400)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 9 月 29 日付「豪州の出資先炭鉱からの配当金の受領に関するお知らせ」にて公表しました連結業績への影響について、集計作業が完了したことから、2026 年 5 月 15 日に公表した 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）及び通期の業績予想並びに配当予想を、以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正

(1) 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株 当 た り 中 間 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,700	90	600	500	8.36
今回修正予想 (B)	5,500	150	1,500	1,400	23.57
増 減 額 (B - A)	800	60	900	900	—
増 減 率 (%)	17.0	66.7	150.0	180.0	—
(参考) 前期実績 (2026 年 3 月期中間期)	5,035	79	1,303	1,254	20.97

(2) 2027 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,400	300	1,800	1,600	26.75
今回修正予想 (B)	11,600	300	2,300	2,100	35.67
増 減 額 (B - A)	2,200	—	500	500	—
増 減 率 (%)	23.4	—	27.8	31.3	—
(参考) 前期実績 (2026 年 3 月期通期)	10,658	329	2,794	2,638	44.11

（３）業績予想修正の理由

第２四半期（中間期）の連結業績につきましては、石炭事業における底堅い需要を反映し、売上高及び営業利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。また、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー供給不足の影響により石炭価格が上昇基調で推移していることなどを背景に、豪州ワンボ社からの受取配当金が期初予想を上回ったことから、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益も前回発表予想を上回る見込みとなりました。

通期の連結業績予想につきましては、各事業がおおむね計画どおりに進捗しているため、営業利益は前回発表予想から変更ありませんが、豪州ワンボ社からの受取配当金は通期においても期初予想を上回る見通しであることから、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、前回発表予想を上方修正することといたしました。

２．配当予想の修正

（１）2027 年 3 月期配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第２四半期末	期 末	合 計
前回予想	—	15 円 00 銭	15 円 00 銭
今回修正予想	—	20 円 00 銭	20 円 00 銭
当期実績	—	—	—
（参考）前期実績（2026 年 3 月期）	—	20 円 00 銭	20 円 00 銭

（２）配当予想修正の理由

当社は、企業価値の継続的向上を図るとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付けており、配当については、配当性向 40%以上を目安に安定的な配当を継続して行うことを基本としつつ、当社を取り巻く経営環境や収益状況に対応し、将来の事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案の上、配当額を決定する方針を採用しております。

2027 年 3 月期の 1 株当たり配当予想につきましては、今回の業績予想の修正により親会社株主に帰属する当期純利益の増加が見込まれることから、当社の配当方針に基づき、表のとおり修正いたします。

（注）本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上